

2021年12月9日

SNS投稿10万件超！ 万年筆ブーム「#インク沼」とは？

コロナ後売り上げ**1.8倍** 美文字練習帳最新刊！ 『中塚翠涛の万年筆できれいな字が書ける本』12/16発売

株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)は、累計430万部突破の日本一売れている「ペン字練習帳」シリーズ著者・中塚翠涛さんの最新刊『中塚翠涛の万年筆できれいな字が書ける本』を2021年12月16日(木)に発売します。

コロナ禍でテレワークの普及などデジタル化が進む一方、「ペン字練習帳」シリーズは緊急事態宣言中に前年比1.8倍に部数を伸ばしました。また最近では万年筆人気が高まっており、エントリーモデルから高級品まで新商品が多数登場。Instagramでも「#インク沼」の投稿数は10万件を超えています。生活様式の変化で直接会うことの難しさが増した時代に、手書きの文字でのコミュニケーションが改めて見直されています。

本誌は、万年筆上達のための書き込み式練習帳です。万年筆の基本、扱い方のほか、練習ページでは、日常生活だけでなくビジネスにも役立つ言葉やフレーズなど、万年筆で書くのに適したお手本などを掲載しています。

①コミュニケーションとして手書き文字に脚光。

ペン字練習帳は、コロナ禍に前年比**1.8倍**の売れ行きに

「ペン字練習帳」シリーズは、1回目の緊急事態宣言が発出された頃(2020年4~7月)の販売数が前年比183%(*)と大きく部数を伸ばしました。また2回目の緊急事態宣言が発出された頃(2021年1~3月)の販売数も前年比144%(*)に伸びており、直接会ってコミュニケーションをとることができない時期、手書き文字を練習しようとする人が多いことがわかりました。また、ビジネスシーンでも顔を合わせてのコミュニケーションが難しくなるなか、手書き風DMの代筆サービスが人気を集めるなど、オンラインでは感じられない手書きの温かみが再注目されています。

※2018年発売『中塚翠涛の30日できれいな字が書けるペン字練習帳 特別版』、2016年発売『30日できれいな字が書けるペン字練習帳 横書きを美しく』、2014年発売『30日できれいな字が書けるペン字練習帳 美文字を書くコツ』の3タイトルと比較

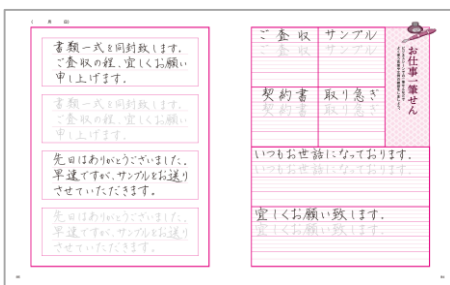
②「#インク沼」は投稿数**10万件超**！個性を表現できる万年筆

「#インク沼」は手書きの文字やお気に入りのインクと共に、Instagramに約10万件超(2021年12月9日時点)の投稿が！王道のインクカラー「ブルーブラック」1つとってもメーカーごとに違いがあり、自分好みの色を見つける楽しみがあります。

③サステナビリティとも相性◎

万年筆はその名の通り、適切な手入れをすれば生涯使えると言われてます。社会がサステナブルな価値観を共有した今こそ使い始めたい文房具です。

練習ページのほか、万年筆の豆知識も紹介！これから万年筆を使ってみたい人におすすめです



『中塚翠涛の万年筆で
きれいな字が書ける本』
発売日:2021年12月16日
定価:880円(税込)



じつは万年筆をよく使うようになったのは比較的大人になってからなんです。

職業柄、筆や筆ペンのほうを使うことが多かったということもありましたが、使い始めてみると万年筆ならではの表現力が非常に魅力的で、いまではどこへ行くにも必ず持ち歩くようになりました。万年筆のいいところは、インクの濃淡や線の太さ・細さで、そのときどきの“感情”が表せるところにあると思います。ぜひ気軽な感覚で万年筆を手にとっていただき、多くの人に万年筆で文字を書く楽しさを感じていただければ幸いです。

中塚 翠涛(なかつか すいとう)

★取材ご相談可能です

岡山県倉敷市出身。東京都在住。4歳から書に親しむ。

2016年にフランスのルーブル美術館展示会場で開催された美術展で金賞と審査員賞金賞をW受賞。さまざまな番組で美文字講師や、ドラマ「SPEC」の書道監修も務める。近年では大河ドラマ「麒麟がくる」の題字も担当。2022年1月19日~1月25日、銀座三越7階ギャラリーで個展開催予定。